

25. 部門協議会の活動

2007 年度

1. 部門・専門会議マーク新設(機械力学・計測制御部門, 生産システム部門, 設計工学システム部門, マイクロ・ナノ工学専門会議)を承認した。
 2. 部門賞・部門一般表彰規定の改定(機械力学・計測制御部門, 機械材料・材料加工部門, 動力エネルギーシステム部門, 設計工学・システム部門, 交通・物流部門)を承認した。
 3. 部門協議会直属分科会(P-SCC:中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所の地震対応に関する法規制実効性検証分科会)設置を承認し, 学会として社会にどのように情報発信すべきか討議した。
 4. 部門活動の評価結果を全部門に関し学会誌に公表することを了承, 公表形態について審議し, 部門活動評価方法に関し討議した。
 5. インフォメーションメールの運用に関し意見交換, 問題点を討議した。
 6. フェロー推薦制度の問題点について討議し, 庶務理事会に検討を依頼した。
 7. 「本会主催以外の国際会議・国内会議等への部門の金銭的な支援のガイドライン」について討議した。
 8. 代議員制度について意見交換し, 検討継続の必要性を確認した。
 9. 理事会, 年次大会, 英文ジャーナル, 部門の予算使用の自由度などについて, 現状の問題点を討議した。
-

2008 年度

1. 部門マーク変更(生産加工・工作機械部門)を承認した。
 2. 専門会議マーク新設(法工学専門会議)を承認した。
 3. 部門一般表彰規定の改定(環境工学部門, 設計工学・システム部門)を承認した。
 4. 支部・部門活性化委員会からの部門運営要綱の「財務」および「部門評価」の部分の改正案を審議し, 「共通の国際会議の評価点」など現状に合わせて修正した。
 5. 代議員推薦制度のあり方について討論を行い, 支部に推薦依頼をするときは, 推薦人数並びに部門からの要望を記載することとした。
 6. 次回の 2011 年の部門活動評価のために, 各期毎の部門活動実績報告書の提出依頼について議長の説明があり, その意義について討議した。
 7. 部門協議会直属分科会(P-SCC:医工学テクノロジー分科会)設置の提案があり, 審議の結果, 原案通りで設置を承認した。
 8. 他部門にインフォメーションメールの配信許可を得るための手続きの効率化を審議し, 広報理事会に検討を依頼した。
-

2009 年度

1. 部門賞規定の改定(宇宙工学部門)が報告され, 承認された。
 2. 部門一般表彰規定の改定(交通・物流部門, 宇宙工学部門, ロボティクス・メカトロニクス部門)および英文名称の一時的な名称変更(生産加工・工作機械部門)が報告され, 承認された。
 3. フェロー推薦制度の問題点について討議を行い, フェロー選考委員会および理事会に検討を依頼した。
 4. 電子メール等による情報提供の運用方法について討議を行い, 広報理事会に意見を伝えた。
 5. スポーツ・アンド・ヒューマンダイナミクス専門会議設置が報告され, 賛同部門の募集等が依頼された。
 6. 日本機械学会論文集の『技術論文』という表記の扱いについて, 討議を行った。
 7. 新型インフルエンザによる行事中止への対応について討議をし, 企画理事会に検討を依頼した。
-

2010 年度

1. 日本機械学会提供の電子サービスやバナー広告料金等について討議を行い, 広報理事に意見を伝えた。
2. フェロー推薦制度の問題点について討議を行い, フェロー選考委員会および理事会に検討を依頼した。
3. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定について討議を行った。
4. ロボティクス・メカトロニクス部門より, ロボットグランプリへの財政支援について依頼があり, 財務理事会での検討を依頼した結果, 機械工学振興事業資金助成事業に申請してほしいとの回答があった。
5. 法工学専門会議の存続に関して意見交換を行った。

25. 部門協議会の活動

- 6.部門評価の基本方針等に関する提案について討議を行い、支部・部門活性化委員会委員長に意見を伝えた。
- 7.マイクロ・ナノ工学専門会議の部門化に関する意見交換を行い、意見聴取を行う部門の募集等が行われた。
- 8.論文集電子化に伴う特別員向け会員サービスについて討議を行った。
- 9.材料力学部門より、持ち回りで開催される理論応用力学講演会にて、2011 年度幹事となるため、委員推薦および部門横断セッションへの協力が要請された。
- 10.部門賞規定の改定(設計工学システム部門)が報告され、承認された。
- 11.部門協議会直属分科会(P-SCC:マイクロ気体流れに関する調査研究分科会)の設置が承認された。
- 12.部門(専門会議)マークの新設(スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス専門会議)が承認された。

2011 年度

- 1.各部門へ東日本大震災調査・提言分科会活動への協力を依頼した。
- 2.新インフォメーションシステム運用指針等の改定について討議を行った。
- 3.第 3 回部門協議会の席上において、フリーディスカッションが行われ、部門が抱える問題点等を議論した。
- 4.論文誌(和・英)のこれからのあり方に関し、討議を行った。
- 5.支部・部門活性化委員会より 2011 年[2006 年度～2010 年度]部門活動評価実施への協力が要請された。
- 6.計算力学部門、バイオエンジニアリング部門、機械材料・材料加工部門、エンジンシステム部門、環境工学部門、生産加工・工作機械部門より部門賞及び一般表彰の改定が報告され、承認された。

2012 年度

- 1.マイクロ・ナノ工学部門が発足した。
- 2.学術誌の再編について編修理事会より概要説明がなされ、各部門から意見聴取を行った。
- 3.他学会と共同出版している英文ジャーナルについても学会賞の対象となるよう要望が出され、表彰部会に検討を依頼した。
- 4.准員制度の廃止、評議員から代表会員への文言が修正されたことについて、部門運営要綱の改定を行ったことが報告された。
- 5.新設部門について、優秀講演表彰(一般表彰)と若手優秀講演フェロー賞の設置が認められ、規定が変更されたことが報告された。
- 6.部門協議会直属分科会(P-SCC I :高度物理刺激と生体応答に関する研究分科会)の設置が承認された。
- 7.支部・部門活性化委員会から、5 年間の部門活動最終評価結果が報告され、第 1 回、第 3 回部門協議会において、今後予定されている部門評価制度の見直しについて各部門から意見聴取を行い、今後の評価の在り方について支部・部門活性化委員会へ要望を伝えた。また、部門制度の今後の在り方についても意見交換を行った。

2013 年度

- 1.部門活動評価の見直しについて各部門から意見徴収を行い、次回の部門評価制度の在り方について問題点を討議した。
- 2.本会の財政状況について情報を共有し、財政健全化に向けて意見交換を行った。
- 3.スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス専門会議の部門化申請について、各部門から新部門設立に関する意見を取りまとめ、意見書を支部・部門活性化委員会に提出した。
- 4.部門運営要綱「4.集会行事企画手続き」において、講習会の教材作成の在り方の見直し、及び消費税値上げに関連した参加費基準値引き上げの改定案が報告された。
- 5.研究発表講演会における著作権規定が制定されたことにより、運用システムが整い次第、各講演会での運用開始依頼があった。
- 6.Web 会議システムの導入について、各部門へアンケート調査を実施した。
- 7.マイクロ・ナノ工学部門より、一般表彰規定の設置が報告された。

2014 年度

- 1.本会の財政状況について情報を共有し、財政健全化に向けて意見交換を行った。

25. 部門協議会の活動

2. 部門協議会直属分科会 2 件(P-SCC I : マイクロ熱流動に関する調査研究分科会, 自動運転に関する分野横断型分科会)の設置が承認された。
3. 部門運営要綱の改定(部門評価項目の追加・修正, 部門所属委員会における副委員長の役職明記)を行った。
4. 部門賞規定の変更(材料力学部門), 一般表彰規定の変更(ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門)が報告された。
5. WEB 会議システムが導入され, 運用について説明があった。
6. 2015 年 4 月から「スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス部門」の発足が報告され, その後「スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門」と当初の部門名を変更することが報告された。
7. 支部・部門活性化委員会より, 各部門へ新しい部門活動評価のためのポリシースタートメント作成依頼があった。また, 2015 年度から正式部門化の審査が開始される「マイクロ・ナノ工学部門」について意見徴収の協力依頼があった。

2015 年度

1. 本会の財政状況について情報を共有し, 財政健全化に向けて意見交換を行った。
2. インフォメーションメール配信について, 新しい運用指針を作成するための意見交換を行った。
3. 2016 年 4 月より, マイクロ・ナノ工学部門が「新設部門」から「通常の部門」へ移行することが報告された。
4. 一般表彰規定の変更(宇宙工学部門)が報告された。
5. 学会誌会告ページの変更, 及び機械工学年鑑の電子版への移行について報告された。

※第 3 回部門協議会(12 月)の開催は中止とした。

2016 年度

1. 研究発表講演会における発表の会員限定化について, 講演申込手順を確認し, 学生会費の改定について報告がされた。
 2. 講演論文集の Web 発行について提案が出された。
 3. インフォメーションメールの発信対象拡大について意見交換を行った。
 4. 部門賞贈賞人数規定の変更について提案がなされ, 各部門から意見を募った。
 5. 部門賞設置(マイクロ・ナノ工学部門), 一般表彰規定の設置(スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門), 一般表彰規定の変更(生産加工・工作機械部門, 交通・物流部門, 宇宙工学部門, マイクロ・ナノ工学部門)が報告された。
 6. 学会誌およびホームページのリニューアルについて報告された。
-